

# 28年度玉名女子高等学校 学校評価

## 自己評価総括

### 本校教育の目的

本校は、普通科・ビジネス科・食物科・看護学科の各教育課程を通して、それぞれの分野の基礎・基本はもとより、専門的・職業的知識や技能を修得し、急速に発展している国際化・情報科・高度化社会に遅れることなく、将来の日本が目指している男女共同参画社会に十分対応できる人材の育成を目的とする。

### 重点努力目標

1. 基礎学力の充実と基本的生活習慣の確立
2. 魅力ある学校づくり
3. 文武両道
4. 人権同和教育の推進と楽しい学校環境づくり  
(実現のため教職員間の疎通を図り、チームワークに努め、組織を機能させる)

| 重点努力目標に対する自己評価総括              |    |   |
|-------------------------------|----|---|
| 評価項目                          | 評価 | 総括および改善案等   |
| 1<br>生徒の基礎学力の向上と多様な生徒に対する進路保障 | A  | 生徒の躰きの把握と基礎学力の定着を目指し、学び直しトレーニングの実施も4年目となり効果を上げた。就職が多かった狙える層が、国公立推薦や看護一般の増加へと変化した。生徒の学力・受験形態により一人ひとりに対応する受験指導を主に実績を上げることができた。新しい大学入試制度も視野に入れ、積極的に研修会に参加をし、準備を検討していくとともに、個別の進学指導にも引き続き取り組んでいく。  |
| 2<br>基本的生活習慣の確立と安全な生活指導       | A  | 毎日の自主学習ノートによる学習習慣の確立、定期的な整容検査による清潔な服装指導のほか、学校行事に組み込んだ学期ごとの教育相談による心のケアなど学習・生活指導ともにしっかりと生徒への指導ができています。全校生徒の3分の一が学生寮での生活という、比較的高い割合で親元を離れた生活を送る生徒達に、心身共に安心できる環境作りにも努力し成果を上げている。担任、保健部、専門職者(SC,SSW)等の連携は密であった。熊本時習館構想による特別支援相談員も有効活用できた。今後もしっかりと連携していきたいと考える。   |
| 3<br>魅力ある学校づくりと生徒募集           | A  | 昨年度に続き、オープンスクールを文化祭と同時開催とした。参加者からの評価は「楽しかった。在校生の雰囲気がよくわかった。」など評価を得、授業体験、部活動体験は十分にしてもらえた。吹奏楽の講習会も実施したことが参加者増になり、活発な生徒活動に結びつき受験生増に繋がったようにも思う。学科内容の見直し、魅力のアピール方法など検討しなければならない。新しいアニメデザインコースについては、受験生、入学生ともに増加した。中身の充実に努めたい。女子校らしさを追求した学習環境作りにも努める。食物科についても新しい「何か」を考えなければならない。先進校の研究を進めたい。  |
| 4<br>教師指導力の向上                 | A  | 授業力の向上と魅力ある授業づくりのために、前年度から始めた外部講師を招いての教科指導力向上研修は、国・数・英に加え、28年度は理、社も各2回ずつ、有意義な研修を実施できた。本校が目指す進路指導のために、先進校視察をするなど、学校外での研修にも積極的に参加した。次年度は実施教科をさらに拡大するとともに、外部講師なしの教科研修も実施し、授業改善に努める。また、新しい大学入試制度に対応することができるために、まずは進路指導部による校内職員研修を実施し、意識の共有に努めた。   |
| 5<br>文武両道を目指す、学習と部活動の両立       | B  | 学校活動と部活動を両立させ、心身共にバランスのとれた人間の育成に努めた。部活動では、バドミントン、卓球など運動部活動の全国大会への進出と、吹奏楽部のマーチング・吹奏楽両方の全国金賞、ダンス部の地域に根ざした積極的なボランティア活動など、どの部活動においても積極的に取り組むことができ、高く評価していただいた。部活動に費やす時間に見合う学習時間の確保や学習成績の維持については、バランスがとれるよう今後もしっかり見守り指導していかなければならない。   |
| 6<br>人権同和教育の推進といじめを許さない心の涵養   | B  | 日常の清掃指導や勤労体験学習を通して奉仕の心を養い、併せて女子高校らしく、清潔で、美しい学習環境作りにも努めた。また、挨拶や所作の中に女性らしい気品のある行動ができるよう指導に努めた。女性の生き方(女性学等)の学びの提供ができるように、教職員側の研究や研修を積極的に進めなければならない。特色ある学校行事の一つ「針供養」では、同窓会副会長に体験と若者へのメッセージを話していただくなど、学校建学の精神を振り返ることも大切に考えることが出来た。差別やいじめのない明るく思いやりのある人格の育成にも努めた。いじめのない環境作りを評価されはしているものの、熊本地震の被災県に学ぶ生徒たちに、高校生として今できることを考える機会をもう少し作ることができればよかった。 |

## 今回のアンケートによる自己評価報告を受けて

今回のアンケートについて、教職員が大変熱心に学校運営・本校教育理念を理解した上で授業等に取り組んでいただいているということ、大変嬉しく思う。特に魅力ある学校作りの中で、広報活動の適切さについて評価が向上しているが、今後さらにスクールバス運行ルート拡大や広報活動の充実、入試会場等の増設について経費が必要であれば考慮していきたいと思う。